

## 中学部 年 生活単元学習 学習指導案

日 時 平成23年12月 日 9:50 ~ 11:10

場 所 中学部 年教室

授業者 (T1) (T2)

### 1 単元名 私たちの進路

### 2 目 標

- (1) 進路について調べたり、まとめたりしたことの結果から、高等部進学に向けて中学部の「今、頑張ること」に気付いたり、考えたり、選んだりする。(主:目標の設定と達成への取組「目標設定」、関連:様々な学習活動への自発的な取組「生きがい・やりがい」)
- (2) 高等部生や卒業生の生活について調べたり、高等部教師に話を聞いたりする中で、自分に合った将来の生活について考える。(主:進路をはじめ様々な情報の収集と活用「情報収集と活用」、関連:将来の夢や職業への憧れ「夢や希望」)
- (3) 進路学習を通し、まとめる活動の中で自分の意見を伝えたり、友達と話し合ったりする経験を積む。(主:社会生活に必要な意思の表現「意思表現」、関連:集団における役割の理解と協力「協力・共同」)

### 3 生徒と単元

#### (1) 生徒について

男子4名、女子2名の計6名で構成されている学級である。学級の特徴として、日常的に言語活動が活発であることが挙げられる。しかし、学習場面では自分の意見に自信がもてず、発言を控える場面が多い。進路学習に関しては、昨年度、職場見学から自分が将来就きたい職業などを考えたり、インタビューを通して分かったことなどを一覧表にまとめたりした。寄宿舎生4名は、高等部の生徒と日常的に関わる機会も多く、高等部への憧れも強い。また、寄宿舎を利用していない生徒も早く高等部生になり、友達がたくさん欲しいことを教師に話している。現在、全員が本校高等部に進学を希望している。

#### (2) 単元について

前単元で卒業生が就労しているめぐみ園の見学を行った後に、高等部ミュージカルの参観が続き、高等部や将来の生活についての憧れや期待が高まっている。そこで今が、高等部の学校生活、卒業後の生活について興味をもって調べることができる適期であると考えた。

本単元は、卒業生の進路先や高等部生徒の実習先の見学や高等部の教師を招いての講話を取り入れて、中学部と高等部の違いを知ったり、将来の生活を考えたりする学習を行う。見学、講話の後には、調べたことや気付いたことを一覧表にまとめる活動を繰り返し行うことで、学習の成果が明確になり、自分から学習に取り組んだり、協力して課題を解決したりすることが期待できる。また、まとめたことを掲示して話し合うことで、中学部の学習が高等部、卒業後へつながることに気付いたり、将来の生活に夢や憧れをもったりできると考え、本単元を設定した。

#### (3) 指導について

- ・ 生徒自身で高等部とのつながりや頑張ることに気付けるように、視点や気持ちを整理するワークシートを準備する。また、ゲストティーチャーに、話題にして欲しいテーマを伝えておく。
- ・ 学習の積み重ねが感じられるように、一覧表は続けて書いていける年表形式とする。また、友達の意見を意識したり、共有したりできるように、全員で見合う時間を設定する。

本時の指導にあたっては、以下の点を留意する。

- ・ 安心して発言できるように、友達との相談は近い距離で行うように設定したり、友達の考えを教師が分かりやすく言い直したりして、出された意見を拾い上げる。

- ・作業学習の大切さや必要性に気付けるように、卒業生をまとめるワークシートを工夫する。
- ・自分たちで気付いた頑張ることが負担とならないように、今できていること、頑張っていることも取り上げ、褒めて認める。

#### 4 指導計画（総時数 31 時間）

小单元名	主な内容	時数
自分を知ろう	自分の得意・苦手、家族についてワークシートに記入し、発表する。 余暇の過ごし方について自分が楽しみなこと、やってみたいことをワークシートに記入し、発表する。	4 時間
高等部ってどんなところ？	中学部と高等部の違いを高等部の教室や時間割を手がかりに調べる。 高等部教師から受検、実習、作業などについて話を聞く。 ・自分で決める、選ぶ ・社会のルール 高等部の現場実習先を見学する。 ・気遣い、責任 学習したことをまとめ、中学校生活からつながるものや今、頑張ることを考える。	19 時間
働く先輩	卒業生の働いている現場を見学する。 卒業生から話を聞く。 ・今、学んでいることの必要性 学習したことをまとめ、中学校生活からつながるものや今、頑張ることを考える。	6 時間 (本時 5・6 / 6)
今の自分が頑張ること	まとめたことから今の自分が頑張ることを話し合い、考える。	2 時間

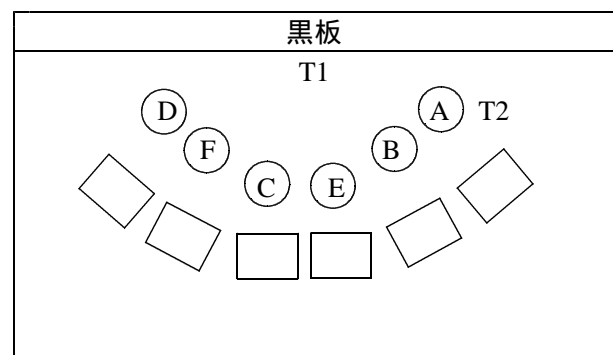
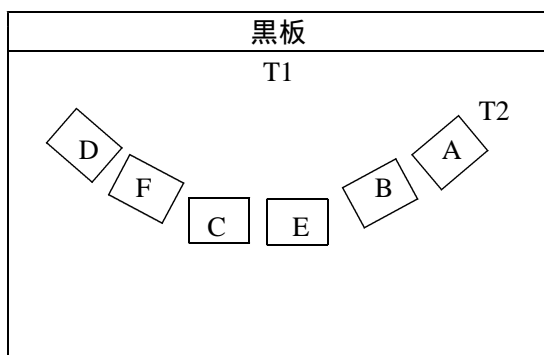
#### 5 本時の計画（総時数 28・29 / 31 時間）

##### (1) 全体の目標

卒業生の話から、今、学習していることが、高等部や将来につながり、役に立つことに気付く。  
身近で働く卒業生から聞いたことをまとめ、その結果から自分が頑張ることを考えたり、選んだりする。

##### (2) 個別の目標 次ページに記載

##### (3) 配置図



(学習過程の 3・5 話し合い、7 振り返り時)

##### (4) 学習過程 最終ページに記載

(2) 個別の目標

氏名	生徒の実態と様子	本時の目標
A	高等部への進学を希望している。自分から考えや意見を述べることは難しいが、簡単な質問に答えたり、2～3つの選択肢を提示すると、その中から選んだりできる。繰り返し活動を行うことで、自分から必要なものを準備したり、時間いっぱい活動することができる。	身近で働く卒業生の話を読み出し、自分の思いや考えを写真や絵から選ぶ。  友達の意見を聞いて同意であれば、手を挙げて伝える。
B	高等部になったらミュージカルに参加することを楽しみにしている。卒業後は、自分の地域で働きたいという希望がある。しかし、高等部でどのような学習があるのか、また、将来働くためにはどのようなことを今頑張るかなどの具体的な事については想像することが難しい。	中学部の学習で卒業後にもつながることを見つけ、頑張りたいことをカードに書く。  失敗や悩みについて考え、どうしたら良いかを友達と話す。
C	進路とは将来のことという概念がある。寄宿舎で交流のある高等部生との会話から、実習やミュージカルへの憧れも強い。 自分の意見に自信がもてず、教師を見つめるだけで発言を控えることがある。	卒業生の話から作業学習が働いてから役立つことに気付き、そう思った理由を話す。  お金の使い方について、自分のおこづかいの使い方を振り返り、考えたことを話す。

氏名	生徒の実態と様子	本時の目標
D	高等部になったら友達をたくさん作って会話をすることを楽しみにしている。しかし、高等部でどのような学習を行うのが具体的には、まだ知らない。また、会話や人とのやりとりに苦手意識があり、自分の考えや思いを伝える事が少ない。	身近で働く卒業生の話から、自分の考えをまとめ、発表等で考えを伝える。  作業学習が高等部、卒業後につながることに気付き、作業学習に取り組む気持ちを話す。
E	高等部進学、卒業したら働きたいとの希望をもっている。意見を求められると恥ずかしがり、言葉につまることが多いが、ゆっくり、じっくり考えてからであれば、小声で近くの友達や教師に伝えることができるようになってきた。	友達の意見を聞いて、自分の考えに近いものを選ぶ。  近くの友達と話し合い、みんなに自分の選んだ頑張りたいことを伝える。
F	高等部進学、卒業後はコンビニエンスストアのアルバイトをしたいとの希望をもっている。 自分の考えたことを率直に伝えることができる。友達が話している途中でも思いついたことを口に出してしまうため、友達の意見に耳を傾けたり、じっくりと考えたりすることが難しい。	友達の意見を聞いて同意したり、自分の考えが違うときは理由を話したりする。  自分の作業学習への取り組みと話し合ったことを比較しながら、頑張りたいことを話す。

本時の目標について

は「学習過程」の「学習活動3」を中心に、それぞれ御覧ください。

は「学習過程」の「学習活動5」を中心に、

(4) 学習過程

時間(分)	学習活動	指導上の留意点						準備物
		C	B(事例)	E	F	D	A	
9:50 (5)	1 本時の学習活動を知る。	・黒板に注目することができるように、話を聞く姿勢や目線の確認をする。(T1)		・見通しをもち、落ち着いて活動できるように、学習活動を書いたカードを掲示し、活動が終わるごとに外す。(T1)				・フラッシュカード ・一覧表
9:55 (10)	2 卒業生の話をワークシートを見て思い出す。	・身近で働く卒業生が話してくれたことを思い出せるように、前時にまとめたワークシートでたどりながら質問をする。(T1)		・ワークシートを見て思い出すことができるように、T2が写真を指差したり、説明したりする。				
10:05 (15)	3 働くことについて気付いた事や思った事を話し合う。	・中学部の学習と卒業後のつながりに注目するように、服装や心がけていることについて気付いたことを聞く。(T1)	・自分の考えに近いものを選ぶように、板書を指差ししながら「同じく思った人は？」と聞く。(T1)	・変わった意見には理由も話せるように「どうしてそう思うの？」と発問する。(T1)	・自分の考えを友達に伝えられるように、「書いたことを読んでみて」と指示する。(T1)	・自分の思いや考えを友達に伝えることができるように、T2が質問しながら写真カードを提示する。	・ペン ・カード ・磁石	
	期待する気付き	通勤時・作業時の服装、勤務時間、作業の内容、心がけていること(思いやり、ほうれんそう、安全な作業)、失敗やストレスの解決法、お金の価値、休日の楽しみ						
10:20 (10)	4 気付いた事や思ったことを水色のカードに書き、一覧表に貼る。	・友達と協力して作業を進めることができるように、困っている友達には言葉を掛けるように伝える。(T2)		・自分の書く内容がわからなくなった時に確認することができるように、板書にそれぞれの意見に対して名前や写真などの印をつける。(T1)				
10:30 (15)	5 高等部や将来の生活のために頑張る目標を話し合ったり、発表したりする。	・お金の価値や使い方について、意見をまとめられるように、話題としているカードを示して待つ。(T1)	・失敗や悩みについて考えられるように、「困ったときはどうすればいいかな？」と発問する。(T1)	・考えがまとまらない時には、近くの友達に相談するように言葉かけをする。(T1)	・自分の学習への取組と比較して考えられるように、カードを指差しながら「どうすればいいかな」と質問をする。(T1)	・作業学習とのつながりを意識して話せるように、友達の意見を紹介しながら「Dさんはどうかな？」と発問する。(T1)	・友達が話したことをT2が分かりやすい言葉で伝え、友達と同じ意見の時には、拳手を促すように促す。	
	期待する目標	身だしなみを整えること、体力をつけること、健康でいること、ルールや手順、時間を守ること、あいさつ、返事、報告(伝えること)をすること、失敗や悩みへ対処すること(相談)、お金を大切に使うこと						
10:45 (10)	6 頑張ることをピンク色のカードに書き、一覧表に貼る。							
10:55 (10)	7 本時を振り返る。	・掲示や板書を見て中学部の学習が働くことへつながっていることを意識できるように、生徒が書いた気付いたことのカードから頑張ることのカードへ、指差しして流れを示しながら話す。(T1)						
11:05 (5)	8 次時の予定を確認する。	・次の授業に期待を高めて臨めるように、次回がこれまでの学習の総まとめとなることを伝える。(T1)						